

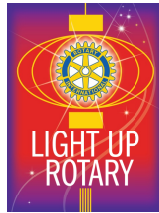
2014-15年度 国際ロータリーテーマ

「ロータリーに輝きを」

RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

10月は米山月間職業奉仕月間です

国際ロータリー 第2580地区
2014-15年度 ガバナー 鈴木 孝雄



「ひとりひとりの『ロータリー・モメント』を!!!」

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
第43代クラブ会長 比留間 孝司

本日の例会
村山デエダラ祭り

第2058回
例会
2014.10.25・26

次回例会案内【11月5日(水)】
全員クラブ協議会

第2057回例会報告

(2014年10月22日)

司会 内野 均 SAA (会場運営委員長)

点 鐘

(比留間 孝司 会長)

斉 唱

それこそロータリー
ソングリーダー (松村 慎一 会員)

来客紹介

(比留間 孝司 会長)

- ゲスト
金野 眞一 様 (東大和RC)



幹事報告

(網代 稔 幹事)

- 東京浅草ロータリークラブより50周年記念誌を頂きました
- デエダラ出席の件

出席報告

(宮崎 恒夫 会場運営委員)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
34名	25名	78.13%	70.97%→74.19%

- メーカーキャップ (第2055回例会)
田中 伸彦 会員 (地区委員会)
- 出席免除会員
榎本 昭 会員 栗原 高明 会員

会務報告

(比留間 孝司 会長)

- RI会長ゲイリーCKホアング夫婦をお迎えして「ジャパン・ロータリーデーII IN東京」開催案内
 - ・2015年2月4日(水)
 - ・ホテルグランパシフィック LE DAIBA
 - ・返信12月5日(金) 800名を超えると終了になります
- 第2回地区職業奉仕セミナーの案内
 - ・11月18日(土) 15:00点鐘
 - ・東武ホテルレバント東京
- 「意義のある業績賞」選定の申込み書が届いています
- 「ロータリー文庫」より
 - 1.クラブHPにて「ロータリー文庫」リンクのお願い
 - 2.資料の寄贈のお願い
- ハイライトよねやま175を頂きました
- 東京東江戸川ロータリークラブより「ポリオのない世界を」公開講座&エコキャップ集積活動のチラシが届きました

ニコニコBOX

(志々田 陽介 親睦委員)

- ☆金野眞一様(東大和RC) 今日はお世話になります。
- ☆比留間孝司会長・網代稔幹事→東大和RCより金野眞一様、本日はようこそお越し下さいました。
- ☆宮崎恒夫会員→誕生日と結婚祝を頂きありがとうございます。

◆今回計 17,000円 累計 682,000円

会員卓話



波多野 晃夫 会員



宮崎 恒夫 会員



用語の使い方

- 1.以上、以下、未満、超える
 - ・いずれも、数量的限定をする場合に用いる。
- 2.以前、以後、前、後
 - ・いずれも、時間的限定をする場合に用いる。
- 3.及び、並びに（AND）
 - ・いずれも、二つ以上の文言をつなぐ併合的接続詞である。
 - ・接続の段階が2段階以上の場合、一番小さい接続だけに「及び」を用い、それ以外の接続にはすべて「並びに」を用いる。
- 4.又は、若しくは（OR）
 - ・いずれも、二つ以上の事柄、物事などのうち、どちらか一方を採り上げることを表す場合に用いる選択的接続詞である。
 - ・接続の段階が2段階以上の場合、一番大きい接続だけに「又は」を用い、それ以外の接続にはすべて「若しくは」を用いる。
- 5.場合、とき、時
 - ・「場合」も「とき」も、仮定的条件を示す言葉であり、単独で用いる場合は特に差異はない。
 - ・「時」は、時期、時刻というような限定した時点を示す用語として用いる。
- 6.者、物、もの
 - ・「者」は、法律上の人格者を示す場合に用いる。
 - ・「物」は、有体物を示す場合に用いる。
 - ・「もの」は、法人格を有しない団体だけを、又は人格者と法人格を有しない団体を一緒にする表す場合等に用いる。
- 7.その他、その他の
 - ・「社員に対しては、扶養手当、通勤手当その他規則で定める手当を支給する」とした場合→規則で定める手当は、扶養手当と通勤手当以外の手当の意味になる。
 - ・「社員に対しては、扶養手当、通勤手当その他の規則で定める手当を支給する」とした場合→扶養手当と通勤手当は、規則で定める手当の例示として掲げられていることになる。

卓話

宮崎 恒夫 会員

私が生まれたのは昭和16年ですので、戦争が始まる直前だと思えます。米軍の爆撃で防空壕に飛び込んで逃げたのと、戦後食料がなくサツマイモのお世話になったのを覚えております。

私は、中学を卒業するとすぐに日立製作所の中央研究所へ入社致しました。当時研究所は大学卒の研究者ばかりで、それも東大理工学部卒ばかりでした。私が入社した時も高卒の人は一人だけしかおりませんでした。

入社後、神奈川県横浜市戸塚区に作られた技能者養成所に入社しました。寮は北鎌倉の病院の跡にあり、同級生9人と住みました。寮ち盛りの子供には夕食だけでは足りず、すぐに近所のパン屋に食パンの耳を買いに行き、空腹をしのぎました。そんな時、通勤のバスで女子高生に話しかけられたので、「とにかく何でも良いから食料をもって遊びに来てくれ」と言いましたら、農家の娘なのでサツマイモをたくさん持って来てくれ、庭で焼芋にして食べました。とにかく農家の娘は性格が良い子ばかりでした。午前中は高校と同程度の授業を受け、午後からは実習と称して旋盤とかフライス盤で色々な金属を加工する技術を教えて頂きました。実習の中で一番つらかったのは、タガネという四角い金属の刃をつけてハンマーで削る作業でした。

中央研究所の私の上司は早稲田大学卒の30才位で、当時ラジオ技術という雑誌に寄稿されている方でした。研究課題は超音波によるジェット機の翼の金属披露テストの実験でした。

超音波発生装置は海外の分献により作製されたのですが、超音波で破壊する為のテストピースの固定方法が決まらずにいました。たまたま私が三味線の弦を引張る方法でテストピースに孔を開け、ピアノ線を通して固定したらどうでしょうかと提案したところ、その案が採用されました。本来は飛行機の翼の金属披露のテストでしたが、予算が余ったので純金のテストピースでテストをしようという事になり、テストピースの加工と削りカスの回収まで立会いしました。その後、上司は早稲田大学の教授になり、博士になられた時のお祝いに呼ばれて初めて銀座へ行きました。

そのような時に、私の上司の同僚の先生に、「宮崎君、研究所内の状況からすると、今現在は15才~16才の少年で研究者や受付・診療所のお姉さんたちにチャホヤされてボク・ボクと可愛がられているが、将来を考えると高校位行きなさい」と言われ、立川の高校定時制の編入試験を受け2年生として秋から入学致しました。その後の人生の恩人の一人です。

その頃の中央研究所は、日立製作所の10年後位の製品の研究をしていました。研究と言ってもテレビのリモコンスイッチを分解して音を出す材質を調査し、そっくりの品を作っていました。ですから、TV・洗濯機・冷蔵庫の騒音対策他、ほとんどアメリカのGEのイミテーションを少し改良して試作品として出していました。

今でも定時制高校時代の同級生とは交流していて話しますが、勉強よりもその後の喫茶店とかの会合の方が楽しかったです。玉石混交と言いますが、早稲田大学の理系に合格した人や、外語大に合格した人もいました。卒業成績のまとめを教師から依頼され成績表を見せてもらいましたが、私達の仲間の女性達がそろって下の方の成績で驚きや、女性の見方が変わりました。

私はアナウンサー希望で文系に行きたかったのですが、父親が理系なら行って良いと言う事で、日大の理工学部の建築科へ進む事に決めました。上司の許可を取り日立製作所の中央研究所を退社し、片道2時間30分かけて短大の建築科がある津田沼の校舎に通いました。途中、仲間は錦糸町駅とか船橋の競馬場等、色々魅力のある所に寄り道していましたが、私は通学時間の関係で付き合えず、私はまじめでとおっていました。

当時の受験資格は、短大（専門学校）を出ると二級建築士を受験でき、その後2年間設計事務所での経験を積むと一級建築士を受験する事が出来、受験時期は4年生大学卒と変わりませんでした。一級建築士の試験会場で、短大から4年制学部へ編入した同期と会い、同時期に合格致しました。

会社は近い所と思い小金井の事務所に行った所、その会社は高卒（昭和工業）が多いのでやりづらいたろうと紹介して頂いたのが渋谷の港湾コンサルタントでした。そこで、港湾建築関係（海外の主に、東南アジアの港湾施設（税関・倉庫等）、サイロ（鉄筋コンクリート製30m×8基）の設計をさせてもらいました。そして3年後位に藤野豊会員のお父様の藤野吉男様にスーパーマーケットの設計を依頼され、会社の上司と一緒に設計し、工事監理をする為上司の許可をもらい退社し、自宅近くのアパートの一室で設計事務所を開業致しました。そんな時、比留間市郎さんが来て、事務所らしい事務所を作るから引っ越して来いと言われ移りました。その関係で親戚、友人他たくさんお客さんを紹介して頂き大変もうかりました。

その後も、親戚の仕事やロータリークラブの同級生の仕事をさせて頂き、現在は不動産業も始めております。

息子が2人おりますので、設計事務所の社長は交代致しましたが、不動産会社の方はまだ引継いでおりません。2人とも宅建の資格を取ったので不動産会社登録はそれぞれの事務所です。これから営業活動を努力させて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日

◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ

◎ 会長 比留間 孝司 ◎ 幹事 網代 稔

○ 副会長 宮崎 茂夫 ○ 副幹事 倉内 淳

□ クラブ会報委員長 松村 慎一 副委員長 網代 雅男

委員 原田友義、薄井政光、波多野晃夫、比留間一義

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店 2階

〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1

◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30

◇ クラブ事務局

〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1

TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252

Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp